

# マム通信

【発行元】  
イノチオホールディングス株式会社  
花卉生産部 マム課  
TEL:0531-23-0333  
<http://www.inochio.co.jp/>



定植の仕方を変更してみました。

## 定植方法の違いによる初期発根の差

マム課では、キクの根張りが悪いことが多く(図-1)、土づくりを通じて改善を図ってきました。しかし、オランダコンサルのRene氏の指摘を受け、定植時方法を変更して初期生育を確認しました。

調査区画: 低炭素ハウス北側(1月23日定植)  
調査品種: レーガンエリートトミーピンク  
定植方法: プラグ苗定植  
試験区: 深植え区(慣行方法)  
浅植え区

### 深植え(慣行)方法

苗が倒れないことを最優先とし、畝表面から約3cmの深さに定植し、土を寄せました(図-2左)。

### 浅植え方法

畝表面にプラグの土が見える程度の位置に定植し、土を寄せました(図-2右)。

### 初期生育結果

浅植え区は深植え区と比較し、根量が多い傾向がみられました(図-3)。しかし、浅植え区では、定植時の土寄せが不十分な場合、初期灌水時に倒れてしまう個体が見られました。

### 今後の課題

- ① 輪ギクでの検討
  - ② 倒伏個体が少ない浅植え方法の検討
- 課題はありますが、今後も浅植えを実践・検討していきます。



図-1 慣行での発根状態

根が上部より出ている。  
元の根が酸欠状態の可能性が考えられる。

定植方法を変えてみよう

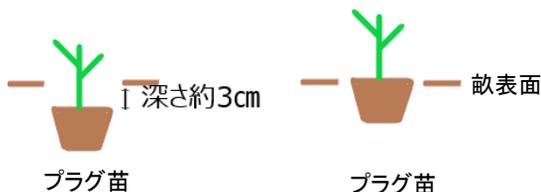


図-2 左: 深植え模式図 右: 浅植え模式図  
深植えは畝表面から約3cmの深さに定植  
浅植えは畝表面にプラグの土が見える程度の位置に定植



図-3 左: 深植え区 右: 浅植え区

右の浅植え区は左の深植え区と比較し根量が多い傾向が見られました。

## 白さび病の発生に注意しましょう

3月に入ると、夜温・湿度が高い日がでてきます。温度が高いと、暖房機が稼働せず、夜間高湿度の状態が維持されやすくなります。白さびが発生しやすい環境になりますので注意しましょう。

確認と対策...

- ① モヤコンを確認しましょう。  
モヤコンのスイッチは入っていますか？暖房機の稼働が少なくなります。  
モヤコンを稼働させ、強制的に湿度を下げましょう。  
温度が1℃上がると湿度は約5%下がります。

- ② 殺菌剤は忘れずに。
- ③ 灌水は朝のうちに。



ココのスイッチ入ってますか？  
確認しましょう！

夜間の高湿度(95%以上)が数日続くと赤信号。



注意:リミット温度以上室温がある場合、モヤコンは動きません。高温時のリミット温度の設定に注意しましょう。